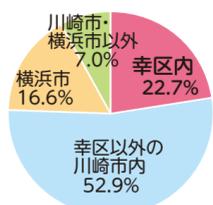


幸区高校生アンケートを実施しました

区民アンケートの対象外である若い世代の意見を聞くため、区内在学の高校生（2年生）を対象とした幸区高校生アンケートを実施しました。若い世代が住み続けたいとなるまちを目指し、高校生の貴重な意見を区の取組に反映させていきます。

回答者属性

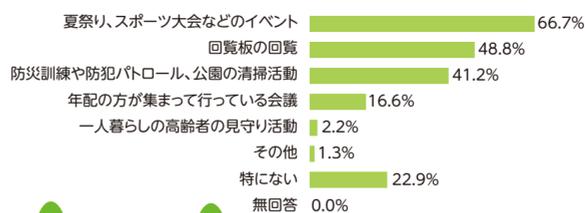
- 幸区内 …………… 22.7%
- 幸区以外の川崎市内 …… 52.9%
- 横浜市 …………… 16.6%
- 川崎市・横浜市以外 …… 7.0%



幸区の良いと感じるところ (魅力や誇り)



町内会・自治会の活動で知っていること



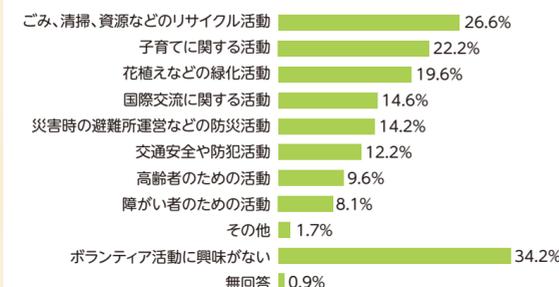
○幸区の良いと感じるところ(魅力や誇り)
(横浜市在住Aさん)幸区は住宅や商店街が密集していて、地元愛が強いイメージがある。

○幸区の良いと感じるところ(魅力や誇り)
(幸区在住Bさん)バスが多く、また、川崎駅まで出れば東京や横浜にもすぐに行けるので交通の便が良い。

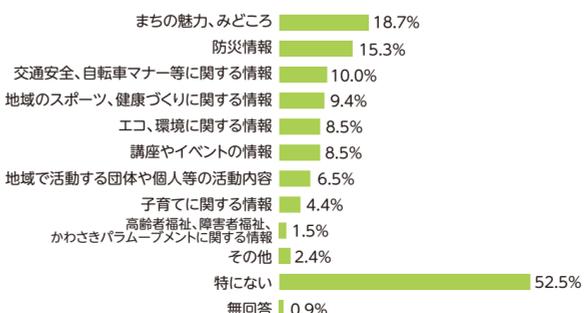
○町内会・自治会の活動で知っていること
(川崎区在住Cさん)小さい頃に町内会が実施している夏祭りや運動会に参加したことがある。「火の用心」のイメージがある。

○町内会・自治会の活動で知っていること
(幸区在住Dさん)父が町内会に入っていて、定期的に行っている掃除などを一緒にしたことがある。

ボランティア活動について興味がある分野



行政のお知らせについて興味、関心がある内容



○ボランティア活動について興味がある分野
(幸区在住Eさん)昔親と一緒に、まちの清掃や、草むしりをしたことがあるので、美化活動はなじみがある。

○行政のお知らせについて興味、関心がある内容
(横浜市在住Fさん)自分の家が危険な区域なこともあり、防災マップなどもしもの時に役に立つ情報は行政にしっかりお知らせしてほしい。

自由意見

- 第1位 バス・鉄道などの公共交通機関について … 25件
- 第2位 治安について …………… 19件
- 第3位 道路整備について …………… 14件
- 第4位 ごみ処理・ポイ捨てについて …… 9件
- 第5位 交通安全について …………… 8件

○自由意見
(幸区在住Gさん)夜の10時くらいに、家の近くのコンビニで同じくらいの年齢の子たちがたむろして、治安が悪いと感じることがある。

○自由意見
(幸区在住Hさん)横断歩道を渡ろうとすると、車が止まってくれないのでこわいと感じることがある。



▲幸区高校生アンケートHP

さいわい

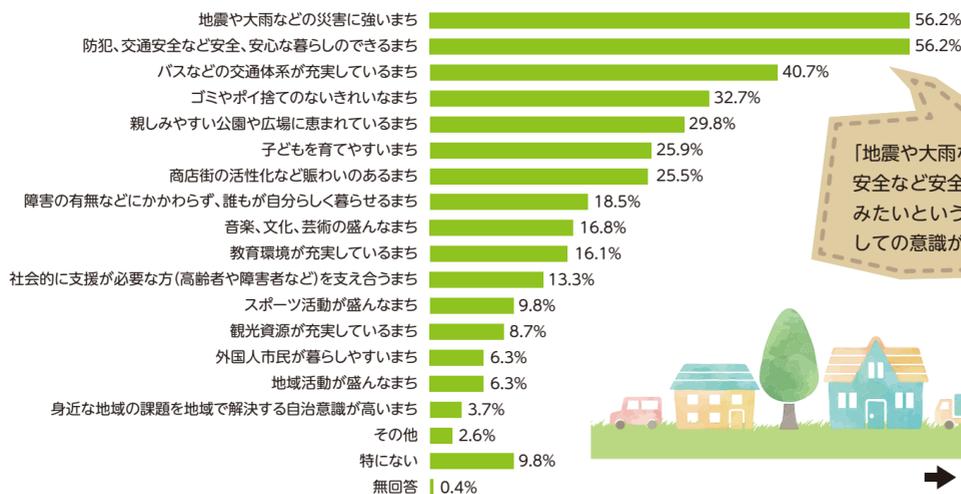
新しいまちづくり 高校生のアイデアを活かして

区では、若い世代から高齢者までのすべての人が住みやすいまちづくりを行っています。今年度は、これまで意見を聞く機会がなかった若い世代の意見やアイデアなどを区政に反映させることを目的として、区内にある幸高校、川崎総合科学高校の2校と連携し、様々な取組を実施しました。



区に在学の高校生に聞いてみました!

10年後、どのような「まち」に住みたいですか?



「地震や大雨などの災害に強いまち」「防犯、交通安全など安全、安心な暮らしのできるまち」に住みたいという割合が高く、防災や安全安心に対する意識が高いことがわかりました。

▶ 幸区高校生アンケートは最終ページへ



▲区HP



区の課題解決や事業の魅力発信のため、高校生が地域に出て行き、様々な分野で高校生のアイデアやスキルを活用させてもらうことで、効果的な取組となりました。



新たな区の課題解決手法を考案 幸高校 普通科2年生

総合的な探究の時間「幸探究」で、区が提示した区の課題について、生徒がその中からテーマを選び、区役所への取材などを行いながら課題解決に向けて研究する取組が行われました。高校生ならではの発想で考案された課題解決手法の中には、実際に区の取組として取り入れさせてもらい、課題解決のきっかけとなったアイデアもありました。

幸探究テーマ

- 幸市民館1階喫茶室跡地の活用
- 若者の投票率の向上
- 町内会・自治会の加入率の低下、高齢化
- 区の新しい魅力の発掘
- 夢見ヶ崎動物公園の活性化
- 魅力的な「区こどもページ」の作成
- 小学校の校庭開放の利用促進 など

小学生が見たいページを小学生の視点で考えることが難しく、分析・仮説・検証を繰り返しながら、ブラッシュアップしていきました。活動を通して、課題に対して目標設定をすることが大事なこと、また、区役所の人たちもこういったプロセスを踏みながら、住みやすいまちを作ろうとされていることに気付きました。



▲子どもが見やすいキャラクターによる掛け合いを取り入れた「区こどもページ」



▲区役所職員への取材



▲区役所での発表会



鯨岡 尊さん 小泉 賢司さん 林 紹鋒さん (テーマ: 魅力的な「区こどもページ」の作成)



SNSを活用した若い世代への区の魅力発信

幸高校の生徒6人が区の効果的な魅力の発信方法として、SNSを活用した方法を区に提案し、協働で魅力発信を行いました。 “若い世代に伝わる”情報発信を行うため、高校生目線で感じた区の魅力を、撮影方法など工夫しながら発信してもらいました。

区と連携することで、普段関わらない地域の人と関わるなど貴重な経験ができました。また、自分の企画がうまく進まないなど大変なことも多かったですが、実行できた時は大きな達成感を味わうことができました。今回の経験を通して、これまで気付かなかった区の魅力を発見することができました。今後も様々なことに興味を持ち、探究心を磨き上げていきたいです。

幸高校 普通科3年生



▲投稿画像



齋藤 祐希さん 武井華奈さん 川満 遥さん 岡本のりかさん 横田 彩佳さん 吉井 夏蓮さん



▲区長へプレゼン



▲区Instagram

高校生が描く、未来の幸区の地域福祉

幸高校 普通科2年生

幸区地域福祉計画の改定にあたって、地域の人とどのようなつながりがあると暮らしやすくなるのかを考え、ワークショップ形式で意見を出してもらいました。一人ひとりが大切にしていること、こんな地域になったらいいなという想いを、幸区の未来に繋いでいきます。



▲「幸区の未来を描く」ワークショップ

デートができるまち (定数が悪くなくても)

お話ができるカフェがたくさんあるまち

手助けしてくれる人が多いまち

周りの人が子育てに関して教えてくれたり、いつでも相談できたりするまち

子どもが好きな人がたくさんいるまち

自転車事故防止の啓発活動

幸高校 風紀委員

区の担当部署と連携し、登校する生徒や通勤途中の人にチラシ・ポケットティッシュの配布を行い、自転車事故防止の啓発活動をしてもらいました。



登校する生徒だけでなく、通勤途中の大人も挨拶を返して受け取ってくれることが多かったです。活動中に、知り合いから「頑張ってる」と声をかけられた時はやりがいを感じました。普段も危険な自転車を多く見かけるので、しっかりルールを守って安全に運転してほしいです。



▲登校する生徒へ声かけ



滝川 柊さん 高野 夏鈴さん

様々な手法で御幸公園の梅の魅力伝える

川崎総合科学高校

各学科の専門的なスキルなどを活用させてもらい、御幸公園の梅の魅力を効果的に区民に伝えてもらいました。

接ぎ木動画の制作 映像制作同好会・放送委員会

かつて三溪園に移植された梅の木を「接ぎ木」技術により御幸公園へ帰らせる区の取組について、幅広い世代に伝わるわかりやすい映像を制作してもらいました。

外からの依頼を受けて映像を制作するのは初めてだったので、要望に沿ったものを制作することが大変でした。飽きさせないように場面転換を入れたこと、また、自作の人形を使って制作するなど、子どもでも受け入れられやすい工夫しました。動画を見て、御幸公園の歴史に興味を持ってもらい、足を運んでいただくきっかけとなれば嬉しいです。



中村 彰太郎さん 日野 涼介さん



▲御幸公園での撮影



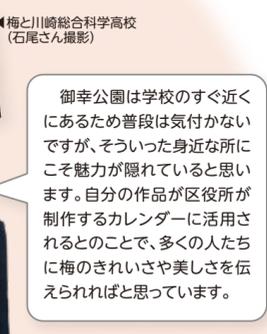
▲動画はこちらから

梅香カレンダーの制作 写真部

区が発行する梅香カレンダーの制作にあたって、写真部の活動で撮影した御幸公園の梅の写真を提供してもらいました。



▲梅香カレンダー



石尾 明奈さん

御幸公園は学校のすぐ近くにあるため普段は気付かないですが、そういった身近な所にこそ魅力が隠れていると思います。自分の作品が区役所が制作するカレンダーに活用されることで、多くの人たちに梅のきれいさや美しさを伝えられればと思っています。

観梅会チラシデザインの制作 デザイン科

デザイン科の生徒に御幸公園で開催される観梅会のチラシをデザインしてもらいました。今年はその中で平岡さんのデザインを採用作品として決定しました。



▲令和2年度観梅会チラシ



平岡 侑紗さん

今回の話をいただいて、区のHPで梅香事業のことを初めて知りました。「梅」は上品で落ち着いたイメージだったので、雰囲気に合わせてデザインを制作しました。チラシを見た人に、梅の美しさが伝わり、また、観梅会に行ってみようと思ってもらえると嬉しいです。

観梅会への出演 吹奏楽部

今年は例年のようなステージでの演奏は中止となりましたが、昨年は観梅会に出演し、会場に彩りを添えてもらいました。

▶昨年の観梅会での演奏



瀬利 明澄さん 高橋 一太さん

昨年の観梅会では、演奏が終わった後に、見ていた人から「すごいね!」など声をかけられて嬉しかったです。観梅会などの地域での演奏はホールでの演奏と違い、お客さんの反応が直接伝わってきて、交流できるのが良いところだと思います。

防災空地のブロック塀デザインで地域を明るく

川崎総合科学高校 美術部

小向町内会長の依頼を受けて、美術部の生徒が防災空地のブロック塀をデザイン制作しました。生徒のデザインによって、防災空地が明るい雰囲気となりました。



▲デザインを下書き



橋 奈月己さん 佐藤 桜さん 野末 結月さん

依頼を受けて、「頼まれたからにはいいものを作ろう!」と思って取り組みました。部員で力を合わせて1つの作品を創り上げるという経験は、今までにない新鮮さややりがいを感じました。通学する子どもたちが多く通る場所なので、壁面を見て「今日も頑張ろう」と元気を出してもらいたいです。



区の鉄道イベントでの模型展示

川崎総合科学高校 電子機械科

区で実施した鉄道スタンプラリーにおいて、卒業制作で制作した鉄道模型を活用させてもらい、イベント期間中、区役所で展示しました。



村上 桐さん 中村 純之助さん 藤田 龍さん 中村 壮汰さん (卒業生)

区役所での展示というお話をいただき、一般の人に広く見てもらえる機会は初めてだったので嬉しかったです。特にこだわったところは、電車の顔や外観、車輪の部分のリアルさ、また、大人8人まで乗れる力強さです。今後は、実際に電車を動かして、子どもたちなどに乗って楽しんでほしいです。



▲区役所での展示